

会 議 要 旨

| | |
|-----------|--|
| 会 議 名 | 平成30年度 第1回館山市行財政改革委員会 |
| 開 催 日 | 平成30年7月12日(木) 13:00~15:10 |
| 開 催 場 所 | 館山市役所 本館2階会議室 |
| 出 席 者 | ◆ 館山市行財政改革委員会委員 7名(1名欠席) ◆ 館山市(事務局) 市長・副市長・総務部長・行革財政課(課長以下5名) |
| 公開・非公開の別 | 公開 |
| 非公開の場合の理由 | |
| 傍 聴 者 | 0名 |
| 会議概要・結果等 | <p>○委嘱状交付・市長あいさつ ・市長より各委員に委嘱状を交付</p> <p>○委員長選出 ・立候補者がなかったため、事務局より委員長に伊藤伸委員、委員長職務代理者に間立委員を提案⇒了承</p> <p>○協議・情報提供 (1) 委員会の運営について 附属機関設置条例等に基づき、以下を確認。 ・本委員会の具体的な業務内容 ・委員会の開催や意志決定の方法 ・原則公開とすること ・日程調整・連絡方法</p> <p>(2) これまでの行財政改革の取り組み ・平成17年度から現在に至るまでの行財政改革の取組みについて、事務局より説明。</p> <p>(3) 第二次行財政改革方針の取り組み結果 ・第二次行財政改革方針の具体的な取組と効果額について事務局より説明。</p> <p>【(2)・(3)に関する主な委員意見】 (●:委員意見 ⇒:事務局回答)</p> <p>●館山市の行財政改革の取り組みは、他自治体と比較しても詳細。金額も出ているし、かなり改革もされているが、今の館山の財政状況とマッチしていない。館山市固有の理由があるのではないか。 ⇒決算を分析すると繰出金と補助費が多い。次回以降、分析資料を基に説明していく。</p> <p>●子どもたちのためにも学校の統廃合は早く進めるべきではないか。街中の学校でも子どもが減ってきている。また、学校現場では様々な課題が</p> |

ある。統廃合し、そういった課題を手厚くケアしていったほうがよいのでは。

●第三中学校の耐震の問題、市民の間では、何億もかけて耐震化するのなら、第二中学校に行かせればいいのに、という意見もある。

⇒近々に学校再編検討委員会が立ち上がる予定。財政的観点だけでなく、子どもたちの教育環境という点から検討していく。

●市がこんなに努力しているとは知らなかった。市の取組みをもっと市民にわかりやすく伝え、市民の理解を得て行財政改革を推進していったほうがよいのではないか。

●本委員会では削減するだけでなく、行財政改革により、市の魅力向上や人口増につながるような、クリエイティブな議論もしていきたい。

(4) 今後のスケジュールについて

年度内は財政に関する勉強会を行った後、次年度以降の方針（事業仕分け、補助金見直し）を検討し、次年度以降方針に基づき、事業仕分け、または補助金の見直しを実施していくことを確認。